



H A S H I K A M I 2022年(令和4年)

No.50

8月号(August)

はしかみ 議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～第3分団屯所 竣工清払祭～

5月8日、第3分団屯所の無事完成を祝し、建物のお清めと安全をお祈りする竣工清払祭が行われました。



三陸復興国立公園
みちのく瀬風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

6月定例会

町独自支援事業

- ・はしかみ暮らし応援商品券交付事業
- ・学校トイレ洋式化事業

第4回 6月定例会

令和4年第4回定例会を6月7日開会し、6月10日閉会しました。今回の議会では、報告2件、条例の一部改正2件、補正予算3件、その他2件、計9件が上程されました。審議の結果、いずれも可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。

新型コロナウイルス感染症に対応する 町独自支援事業

学校トイレ 洋式化事業

赤保内小学校及び道仏小学校のすべての和式トイレを、飛沫感染の予防効果がある蓋つき洋式トイレに改修します。



現在の赤保内小学校トイレ

はしかみ暮らし 応援商品券交付事業

原油価格の高騰や物価の高騰等に直面している町民の生活を応援するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援を図ります。



町民全員に一人につき
1万円の商品券を配布

- ▽4年度一般会計(第2号) 2億9,087万円を増額補正し、予算総額を58億1,087万円。
- 【歳出の主なもの】 旧大蛇小学校及び旧小舟渡小学校の粗大ごみ等処分に係る委託料2,611万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金に係る経費1,817万円、子育て世帯生活支援特別給付金事業に係る経費1,136万円等。
- さらに、町独自支援事業として、「はしかみ暮らし応援商品券交付事業」に1億3,824万円、「学校トイレ洋式化事業」に980万円等。
- (7pに関連質疑掲載)
- ▽4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 1,190万円を減額補正し、予算総額を3億3,440万円。

令和4年度 各会計の補正額及び予算総額

| 区分 | 補正額 | → | 予算総額 |
|------|-----------|---|------------|
| 一般会計 | 2億9,087万円 | → | 58億1,087万円 |
| 特別会計 | 公共下水道 | → | 3億3,440万円 |
| | 後期高齢者 | → | 1億6,652万円 |

※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一体しない場合があります。

- ▽4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 1,470万円を減額補正し、予算総額を1億6,652万円。



■報告

▽3年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告

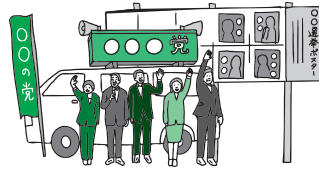
3年度に定めた、社会保障・税番号制度システム整備事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業等に係る繰越計算書を報告するもの。

▽3年度公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告

繰越した公共下水道事業について、計算書を報告するもの。

▽階上町企業誘致条例の一部改正

未活用町有財産の活用を促進し、雇用拡大・産業の振興、町勢の発展を図るため、所要の改正を行うための一部改正。



■条例の一部改正

▽階上町議会議員及び階上町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

物価の変動等に鑑み、選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に要する経費に係る限度額を改めるための一部改正。



澤田 充 氏

▽階上町副町長に選任する者につき同意を求むることについて

起立採決の結果、賛成多数により、澤田充氏の選任に同意。
〈7Pに関連質疑掲載〉



小舟渡集会所の完成イメージ

■その他

▽小舟渡集会所移転新築工事請負契約の締結について

小舟渡集会所移転新築工事請負契約を締結するため。

一般質問

ここが聞きたい

第4回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 畑山 真也 議員 4ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
- 2 生活困窮者自立支援、ひきこもり支援等について

■ 郷州 公典 議員 6ページ

- 1 階上町の企業誘致施策のPRについて
- 2 階上町の都市計画のうちの道路計画について

■ 小坂 正年 議員 5ページ

- 1 階上町の入札制度について
- 2 階上町の企業誘致の現状について

★質問内容については、見やすい分かりやすい編集にしましたので、通告内容と順番が異なっている場合があります。





畑山真也 議員

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の活用は

〔町長〕本町に必要な支援策を
随時検討していく

はしかみ暮らし応援商品券



問① 令和2年度から創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について、令和3年度の事業実績と効果及び令和4年度の事業計画について伺う。

答① 町長

令和3年度は①令和2年度から実施している「小中学校給食費無償化事業」②非課税世帯を対象とした「臨時家計支援給付金事業」③中小企業への支援として「事業者支援金」の給付④米生産農家の生産意欲を維持するため「主食用米作付農家支援事業」の、4つの独自支援事業に臨時交付金を活用し、全ての事業において一定の効果があつたものと認識している。

令和4年度の事業計画は、「小中学校給食費無償化事業」を引き続き実施。また、二つの新たな独自支援事業として、①町を担う子どもたちの安心で安全な学校環境整備

を行うため、赤保内小学校と道仏小学校の和式トイレを洋式トイレに改修する「学校トイレ洋式化事業」②コロナ禍で物価高騰の影響を受けている全町民に1人当たり1万円分の商品券を配布する「はしかみ暮らし応援商品券交付事業」を実施する。町内の中小企業等への支援も考慮し、町内でのみ使用可能な商品券とし、町内経済の下支えも図る。

問② ①現金支給ではなく商品券の配布とした理由は、②改修を行う学校の選定理由は、

答② 産業振興課長

①事業の制度設計にあたり、町内事業者の支援にもつながる事業と考えるため。

教育課長

②児童数と教職員数の多い、赤保内小学校と道仏小学校を選定。二校は建築年数が新しく、ブラスはそのままで便器を交

換する工法が可能。石鉢小学校は、個別施設管理計画の改修検討の中で実施。階上小学校は、職員用も含め、計六基あるため、職員児童数から勘案して不足のない状況と判断した。

生活困窮者やひきこもり支援の体制は

〔町長〕関係機関と協力しながら解決に向けて支援する

問① コロナ禍により就労困難な方や生活困窮者が増加し、また外出自粛等人々の接触が制限され悩みを抱えていても話をする機会もなく孤独に生活し、ひきこもりになる方も増えていると思う。コロナ禍前後における相談状況の変化と相談受付体制について伺う。

コロナ禍により生活資金の貸付が必要な方は「町社会福祉協議会」につないでいる。ひきこもり支援は、就職を希望する方の相談は「はちのへ若者サポートステーション」に、ひきこもりに悩む本人や家族からの相談は「三戸地域自立相談窓口」又は「青森県ひきこもり地域支援センター」につないでいる。

答① 町長

相談が増えていると「三戸地域自立相談窓口」から報告を受けている。

町の相談受付体制として、生活困窮者支援については、保護が必要な方は「三戸地方福祉事務所」に、就労支援が必要な方は「三戸地域自立相

談窓口」に、一時的な生活資金の貸付が必要な方は「町社会福祉協議会」につないでいる。

ひきこもり支援は、就職を希望する方の相談は「はちのへ若者サポートステーション」に、ひきこもりに悩む本人や家族からの相談は「三戸地域自立相談窓口」又は「青森県ひきこもり地域支援センター」につないでいる。

問② 支援対象者の掘り起しに対する今後の町の取組と相談窓口の設置について伺う。

答② 介護福祉課長

町広報紙、ホームページ等により相談窓口の情報発信と周知に、より一層努める。町と各支援相談窓口との連携を密にし、訪問支援のための積極的な働きかけ等を強化し、潜在的な支援対象者の掘り起しと情報把握に努める。

相談窓口の設置については、今後の相談状況等を見ながら、関係団体及び関係機関と協議を行うなど、必要に応じて検討する。





小坂正年 議員

町の企業誘致の現状は

〔町長〕雇用の創出や地域経済の活性化につなげていきたい



誘致企業の伊勢屋金網工業(株)

問①

昭和60年に階上町企業誘致条例

例が制定されているが、ここ10年間でどれだけ企業誘致が進んでいるのか、またあるとすれば、どのような業種なのか伺う。

答①

町長

これまで本町には、6社の誘致企業があり、そのうち3社は県の誘致企業、残り3社が町の誘致企業となっている。

平成3年度に、県が誘致した「製造業」が最後となっているが、昨年12月の三陸沿岸道路全線開通などを見越して、企業からの相談も増加傾向にあり、令和3年度、2社について、本町へ移転を決定。今後、誘致企業条例に基づき、町誘致企業の指定に向けて、対応していく。

企業誘致にあたっては、社会情勢の変化や企業の求めるニーズを踏まえた施策を展開していくことが、重要と考えている。今定例会で提案してい

る、階上町企業誘致条例の一部改正でも、本町に進出する企業に対し、優位性を確保し、企業ニーズを捉えた効果的な制度に見直すこととしている。

今後企業が進出しやすい環境を整え、雇用の創出や地域経済の活性化につなげていきたい。

問②

企業誘致は、町政の発展のためには必要なものと考え

る。企業誘致条例の一部改正により、新たな施策を展開することだが、具体的な改正内容と進め方について伺う。

答②

総合政策課長

条例の対象となる基準を見直し、これまで経費に含まれていなかった、地代を算入できるように改正し、雇用を一律従業員20人以上とするなど、現在の状況に合わせた体制を提案している。また、新たに条項を追加し、町の遊休財産となっている旧大蛇小学校と旧小舟渡



旧小舟渡小学校

小学校の建物および用地を活用した企業誘致を実施できるように改正をする。

進め方は、校舎内にある未利用備品の処分や公募要項の決定をし、公募期間は概ね1か月程度を予定、7月末までに公募の結果を出せるものと考えている。また、誘致する企業が決定した場合には、町広報紙などでお知らせする。

町の入札制度の危険性は

〔町長〕官製談合の危険性は「ない」と認識している

問①

この頃新聞等で、いろいろな官製談合が騒がれている。町の入札ではそのような危険がないのか伺う。

答①

町長

工事の入札については、現在、予定価格の公表により実施しており、最低制限価格については、「予定価格が130万円を超える工事」に適用している。その算定方法は「階上町最低制限価格制度実施要綱」に基づき、設定している。

算定方式は、平成30年3月に、町内建設業者に通知すると共に、町ホームページにおいても公表している。さらに、事業者は、積算内訳書の提出を義務付け、適切に積算していることを担当課において確認しており、本町におい

問②

業務委託や物品の購入などは

で、そのような事案の発生につながることは「ない」と認識している。

答②

総合政策課長

業務委託や物品の購入については、最低制限価格は設けておらず、予定価格についても非公表により実施している。予定価格の設定については工事も含め、公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づき設定しており、その保管についても封筒に封印後、担当課長により適宜保管しているため、工事同様官製談合等につながることはない」と認識している。



郷州公典 議員

都市計画の道路整備を早急に！

〔町長〕 地域の実情や財源などを踏まえ、検討する



階上中学校前の道路

問①

階上町の都市計画は、土地利用や都市施設の整備を計画し、その中で下水道事業を推進したことで、石鉢・野場中・蒼前地内の下水道が普及し、現在も毎年工事が行われ、生活環境は改善し、町民は感謝している。

一方、道路計画については進んでいない。長期の視野に立って、手を付けられる場所から進めるべきではないか。

答①

町長

都市計画による道路整備は、平成11年に、11路線約24kmを計画した。その内、八戸市から仙台市までの三陸沿岸道路が、昨年12月に全線開通し、災害時の輸送路の確保、物流の効率化による企業誘致の促進、移動時間の短縮による観光・交流の拡大などに期待している。都市計画による道路事業は、多額の用地費や物件移転補償費、工事費が必要で、事業実施に

いたっていないが、将来に向けた、都市基盤であるため、地域の実情や財源などを踏まえ、検討したい。

問②

道路は車と歩行者の安全が第一である。階上郵便局前の道路は子ども達が多く歩く道路なので、ガードレールが必要ではないか。

また、都市計画道路は15m幅ということで大変立派な道路である。見本となるものを作ってはどうか。

答②

建設課長

通学路の交通安全対策については、階上町通学路安全推進協議会を開催し、合同点検をしている。その結果、大蛇駅周辺、階上分署周辺の歩道整備を行った。郵便局と国道45号の間は点検箇所ではないが、その先の階上中学校の前等ではガードレールが設置されているので、今後関係者等々意見を伺いながら検討する。



郵便局と国道45号の間の道路

街路事業は多額の移転費用等がかかる箇所が多数あるので、慎重に判断していきたい。

階上町の企業誘致施策のPRは

〔町長〕 これまでと異なる積極的な誘致策を実施する

問①

企業誘致施策として町から企業へのPRが重要だと思う。

人口密集地帯や都市では、コロナ感染症が蔓延の可能性が高いとされ、ウイルスに脆弱だと考える。今後地方に生活や経済活動の活路がある。ふるさととはしかみ会への活動の強化、企業誘致条例等の周知、工場・事務所の建設ができる場所の提供など、PRが必要ではないか。

答①

町長

青森県の東京事務所や青森県企業誘致推進協議会などを活用したり、八戸圏域連携中枢都市圏の東京等でのセミナーへの参加など、多種多様な方法で階上町の良さや、企業誘致条例の内容など、PRを実施している。ふるさととはしかみ会にもお願いしてきている。昨年12月に三陸沿岸道

問②

階上町の法人

税の税収が平成28年の5500万円から増加してきたがコロナでまた停滞している。今一度頑張るべきではないか。

答②

総合政策課長

事業所数は若干であるが増えている。税収はコロナ禍の関係で下がっているが、法人町民税は、町の重要な財源の一つなので、企業誘致も含めて検討していく。

質疑あれこれ

第4回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

4年度一般会計補正予算

長根 岩夫 議員

◆ コミュニティ助成事業

問 事業の主な内容と今年度に予定する事業内容は。

答 総合政策課長 コミュニティ活動に必要な設備等の整備を助成するもので、今年度は耳ヶ吹東町内会の申請が採択され、草刈り機、ウッドチップパー、チェーンソー、パワーブロワーなどを整備する予定。

大下 修 議員

◆ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

問 令和4年度における対象者、給付額、対象者数、給付時期、及びこれまでの支給世帯数は。

答 介護福祉課長 令和4年度に新たに住民税が非課税となった世帯に、1世帯当たり10万円、158世帯を見込み、

7月中旬給付開始予定。これまでの支給世帯数は1490世帯。

◆ 子育て世帯生活支援特別給付金

問 子育て支援の内容、対象者数、給付方法と時期は。

答 すこやか健康課長 低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活の支援を行うため、給付金を支給するもの。対象児童数は192人を見込み、児童一人当たり一律5万円を7月上旬に支給予定。高校生のみ養育世帯や直近で収入が減収した世帯は、申請が必要。

下沢 育男 議員

◆ はしかみ暮らし応援商品券交付事業費補助金

問 対象者と交付時期・商品券額等の内容は。令和2年度実施の事業の実績は。

また、地元事業所の利用増への対応は。

答 産業振興課長 全町民に対し一人当たり1万円分の商品券を交付する。申請不要、7月下旬発送予定。使用期間は令和5年1月31日まで。令和2年度のはしかみ応援振興

券交付事業の実績は、交付率98・1%、使用率97・4%。事業所の支援につながるよう、町内登録事業所で使える共通券7千円分と、中小事業所のみで使える専用券3千円としている。専用券に共通券をプラスして、使用していたことで、大きな経済効果をもたらすと考えている。

副町長選任の同意について

小松 雅彦 議員

問 新聞で既に副町長が決まったかのような報道がなされたが、どう考えているか。

答 町長 報道に関しては、情報管理を自身は徹底していたものの、報道されたことについて自身にも責任があるものと考えている。

総務課長 今後情報管理に気を付けていく。

長根 岩夫 議員

問 議員も町部局も町民の不信を招くことのないようにしていくべきではないか。

答 町長 町民の幸せを第一に考えながら、町の発展に努めたい。

第5回臨時会

令和4年第5回臨時会が、7月29日に招集され、審議の結果、全会一致で可決しました。

■ 条例の一部改正

▽ 階上町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正

町長、副町長の給料の支給割合を改めるための一部改正。職員の不祥事による懲戒免職に伴い、町長及び副町長の給料月額を令和4年8月から3か月間減額するもの。

木村誠元議員逝去

元村議会議員の木村誠さんが、4月28日、ご逝去されました。昭和46年4月から4年間、議員として、町の発展に尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議長交際費執行状況

| 番号 | 支払区分 | 支払月日 | 支払内容 | 支出金額 |
|----|------|-------|---------------|--------|
| 1 | 祝金 | 5月17日 | 町身体障害者福祉会定期総会 | 3,000円 |

議会だより編集委員会

◆ 今月号の編集委員（3人）

- ・ 上道 三男 議員（総務財政）
- ・ 下沢 育男 議員（産業建設）
- ・ 畑山 真也 議員（教育民生）



議会活動

5月

8日 第3分団屯所竣工
 弘祭



11日 八戸・久慈自動車道
 整備利活用促進期成
 同盟会定例総会
 17日 町身体障害者福祉会
 定期総会
 23日 郡議長会臨時総会
 25日 町村議会広報研修会
 26日 町商工会通常総会
 27日 議会運営委員会
 31日 三戸郡総合体育大会
 結団式



6月

7日 議会運営委員会
 7日 第4回定例会本会議
 7日 議員全員協議会
 9日 第4回定例会本会議
 9日 議会運営委員会
 10日 第4回定例会本会議
 16日 県町村議会議長会臨時
 総会
 21日 八戸地域広域市町村圏
 事務組合議員協議会
 29日 北奥羽開発促進協議会
 定例総会
 30日 八戸地域広域市町村圏
 事務組合臨時会

7月

1日 八戸・久慈自動車道整
 備利活用促進期成同盟
 会要望活動(青森)
 8日 議会だより編集委員会
 13日 県下町村議会議員研修
 会
 21日 夏の交通安全県民運動
 に係る町街頭広報活動
 22日 議会だより編集委員会
 29日 議会運営委員会
 29日 第5回臨時会
 29日 議会だより編集委員会

県下町村議会議員研修会

7月13日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員14名が参加。

- ◆講師 政治ジャーナリスト 田崎 史郎
- ◆演題 今後の政局・政治展望



県議長会町村議会広報研修会

5月25日、青森市で開催された「県議長会町村議会広報研修会」に、議員6名が参加。

- ◆講師 議会広報サポーター 芳野 政明
- ◆演題 (1)住民に読まれ議会活動が伝わる
 (2)町村議会広報クリニック



編集後記

より町民の皆様が親しまれる紙面作り
 に努め「一般質問ここが聞きたい」
 の最初のタイトルを横書きにしてみました。
 気付いて頂ければ幸いです。今
 後も見やすい、分かりやすい紙面作り
 に取り組みます。(上道・下沢・畑山)

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ◆第4回定例会
 (令和4年6月)
 6月7日(6人)
 6月9日(7人)
 6月10日(6人)
- ◆第5回臨時会
 (令和4年7月)
 7月29日(3人)

議会を傍聴しませんか

議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、
 受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。
 (新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております。)